

超高層ビルから住宅まで 現代建築を支える要

生コンとは固まる前の「生」のコンク リートのこと。セメントと砂利や砂など の骨材を水で練ったもので、建設する 建物に必要な強度や耐久性に合わせ て配合を調整しています。強度や施工 性など生コンの要求品質は、季節や天 候、交通状況、現場の希望などにより 日々刻々と変化します。これに対応す るため、同社では現場に社員を派遣し てコンクリートの状態を常時チェック して工場にフィードバック、最新のコン ピュータ製造管理システムにより品質 をコントロールしています。

またJISの規定で生コンは90分以 内に現場に納入しなくてはなりませ ん。同社は旧甲州街道沿いの立地を フル活用し、甲州街道(R20)や環状 八号線を通じて東は新宿の超高層ビ ル群、西は調布から府中方面、さらに 南は二子玉川方面まで規定時間内で の納入が可能な営業圏としています。

こうした品質管理と機動力をバック に、新国立競技場や外環道中央ジャン クションなど進行中の国家プロジェク トにも、高品質の生コンで貢献してい ます。

宍戸コンクリート工業株式会社

www.shishido-concrete.co.jp

宍戸 啓昭 代表者

所在地 世田谷区給田3-2-15 設立 昭和29年(1954年)

主な事業 生コンクリートの製造、販売 ☎03-3326-5251 連絡先





大型に加え8~3tの中小ミキサー車も保有し、マンションや 住宅の基礎工事など生活に密着した現場への対応も万全



標準水槽で保管されている出荷した 製品のサンプル

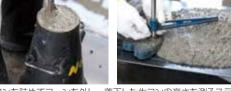
ここがすごい!! 🖒

納品した製品はサ ンプルを保存して 品質を保証

施工に最適な流動性で あることを確認するため、 出荷前にはスランプ試験を 行います。またコンクリー トは固まってから強度が上 がってくるので、出荷した生 コンのサンプルを、標準水 槽の中で出荷後4週間保管 し、製品に所定の強度が出 ていることを確認しなけれ ばなりません。

製品を出荷すれば終わり ではなく、設計した性能を 出すまでが製造者の仕事。 建築を支える重要な材料な ので責任も重大です。





牛コンを詰めてコーンを外し、落下した牛コンの高さを測るスラン



保管しているサンプルの強度を 試験機で測定する

VOICE 📢

地道な作業が達成感につながるものづくり



ものづくりには魔法も近道もない。地道 な作業の繰り返しで、サービス業のような 派手な面白味には欠けます。でも生コンの 仕事で言えば、建物は確実に風景に刻まれ 記憶に残ります。歴史を作り後世に残す作 業に加われることが、この仕事を続ける原 動力でもあります。

宍戸邦啓取締役社長(中央) 技術課 大場圭一郎さん(左) 技術課 松本康裕さん(右)